取扱説明書

スピーカーキット

型名 SX-WD5KT

本機は、キャビネットと振動板に天然木を使用しています。
そのため、外観が一台ごとに異なります。

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に②～③ページの「安全上のご注意」「ご使用の前に」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

LVT1702-001B

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは､製品を安全に正しくお使いいただき､人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､｢死亡または重傷を負う可能性が想定される｣内容を示しています。

⚠ 注意

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､｢傷害を負ったり物的損害が想定される｣ 内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号　行為を指示する記号

⚠ 警告

■ネジをはずしたり､分解､改造したりしない

分解禁止

・内部の点検や修理などは､販売店にご依頼ください。

■本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

・頭からかぶると窒息の原因となります。

■スピーカーは定格入力を超えるアンプに接続しない

・スピーカーの定格入力や定格インピーダンスに不適合のアンプで使用すると、火災、感電の原因となります。ご使用の際は取扱説明書をよくお読みください。不明な点がありましたら、販売店やサービス窓口にご相談ください。

⚠ 注意

■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■スピーカーに乗ったり、ぶら下がったりしない

・特にお子様にはご注意ください｡倒れたり､こわれたりして､けがの原因となることがあります。

■接続するときはアンプの電源を切る

・スピーカーをアンプに接続する際はアンプの電源を必ず切ってください。電源が入った状態でコードをショートさせると、アンプが故障したり、火災、感電の原因となることがあります。

■はじめから音量を上げすぎない

・アンプの電源を入れる前に､音量（ボリューム）を最小にしてください｡突然大きな音が出て､スピーカーを破損したり聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間、音が歪んだ状態で使用しない

・スピーカーが発熱し､火災の原因となることがあります。

ご使用の前に

■設置上の注意

・ キャビネットの変形・変色を防止するため、直射日光や湿気の多い所、冷暖房器の近くなどを避けて設置してください。
・ スピーカーの振動でハウリングを起こすことがあります。できるだけレコードプレーヤーから離してください。
・ 本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしたスピーカーですが、設置方法によっては色むらが生じる場合もありますので、設置の際は次の点に注意してください。

1. 本機と一緒にテレビを使用する場合は、必ずテレビの主電源スイッチを切った状態で設置してください。
   なお、テレビの主電源スイッチは、切ってから少なくとも 30 分後に入れるようにしてください。
2. テレビの種類によっては、色むらを生じることがあります。色むらを生じるときは、十分離して設置してください。

■お手入れについて

スピーカーシステムの手入れをするときには

・ スピーカーシステムの汚れは柔らかい布(ネルなど)で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤でふき取り、乾いた布で仕上げてください。(ご使用の中性洗剤については、その注意書きにしたがってください)
・ スピーカーの表面をベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。

よい音で聞くためには

■スピーカーシステム設置の配慮

・ スピーカーシステムの再生音はリスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。
設置時には、側面の壁から 50cm 程度離すことを、おすすめします。
これは本機をご使用になるリスニングルームの諸条件により変化しますので、上記を目安とし、音場が拡がり、音像がはっきりと定位する位置に設置することをおすすめします。

■音場の改善

・ 反射または共振を起こしやすい洋間では、厚手のカーテンやジュータンなどをお使いください。
また、スピーカーの正面（向かい側）が固い壁やガラス戸などの場合には、反射や定在波の発生を防ぐ目的で厚手のカーテンなどで吸音処理することをおすすめします。

■ステレオを聞くときのエチケット

・ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

■付属品

ご使用になる前に本機の付属品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

・ 付属品は、組立説明書の5ページをご覧ください。
・ この製品には付属品の他に、取扱説明書（本書）、組立説明書およびネットワーク参考資料が添付されています。

接　続

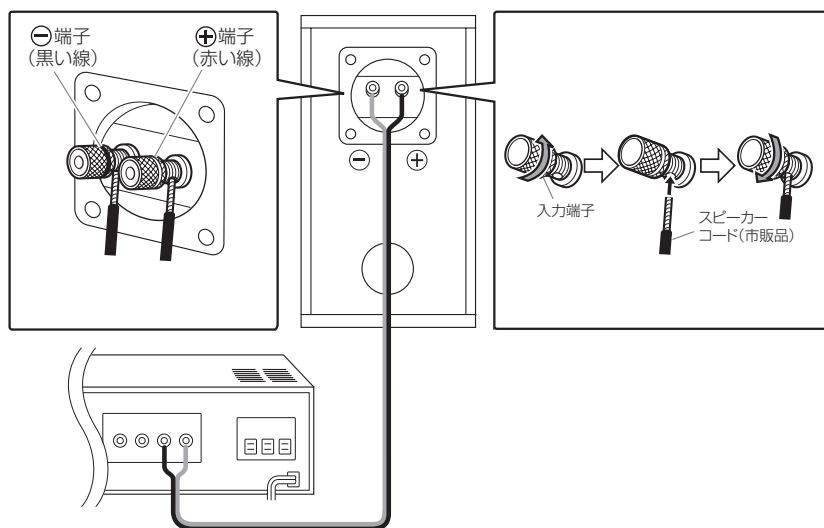
■接続のまえに（次のことに注意して接続してください）

・本機の最大入力（JIS）は 100W です。
・本機の定格インピーダンスは 6 Ωです。負荷インピーダンス 6 Ωが接続できるアンプをご使用ください。
・アンプ側の電源を必ず切ってください。電源が入った状態でスピーカーコードをショートさせますと、アンプを故障させる恐れがあります。
・本機にはアンプと接続するスピーカーコードを添付しておりません。ご購入の際は、次の点に注意してお選びください。
　－スピーカーコードはできるだけ短く、芯線の太いもの（最大φ 4mm）をご使用ください。
　－アンプとの距離の関係でスピーカーコードの左右の長さが異なる場合には、スピーカーコードの長さをアンプとの距離が遠い方に合わせて揃えてください。
　－特殊なスピーカーコード（リッツ線、同軸線）や、方向指定のあるコードは固有のキャラクターが微妙に音質に影響する場合があります。十分ご検討の上お選びください。

■アンプのボリューム

・一般的にミュージック・ソースを入力したとき、アンプのボリュームが半分以上になると、アンプの出力歪み（音が割れる）が増加して、スピーカーを破損させる恐れがあります。ボリュームは、半分以下でご使用ください。

■接続のしかた

下図をご参照の上､本機の入力端子とアンプのスピーカー端子をスピーカーコードで接続してください。

入力ソースについて

■ CD ／ DVD などのデジタル系ソースを再生する場合

レコードにはスクラッチノイズが、カセットテープにはテープヒスノイズがありますが、デジタル系ソースではノイズがほとんどなく無音から急に音楽信号が入ってきます。また、ダイナミックレンジが広く急激に音が立ち上がりますので、スピーカーに過大入力が加わらないようアンプのボリュームに注意してご使用ください。

■特殊な入力信号の場合

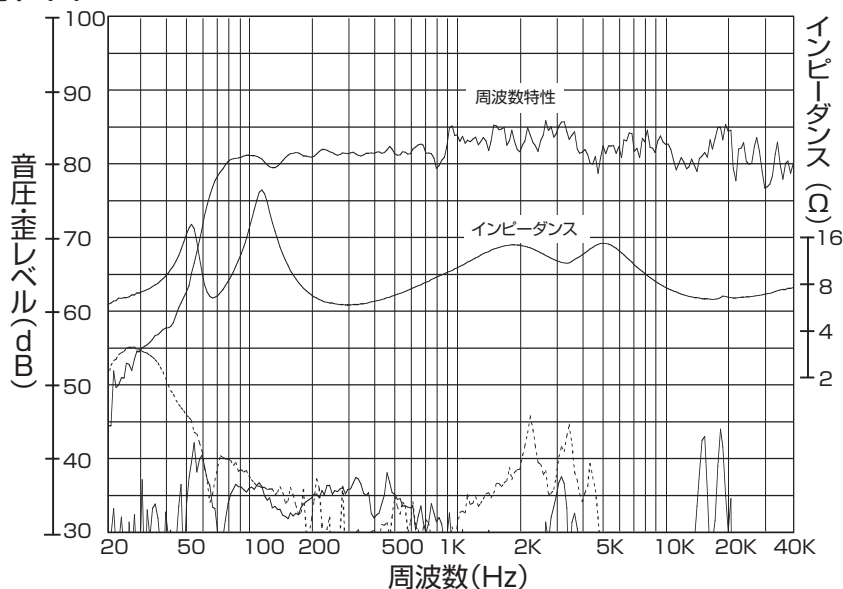
本機に次のような特殊信号が加えられると、過大電流による焼損断線事故の原因となることがありますので、十分注意してご使用ください。

① FM チューナー選局時の大きな局間ノイズ。
② アンプやチューナーなどの“オン”、“オフ”時のショック音。
③ 接続端子の抜き差し時のショック音。
④ カートリッジ交換時のショック音。
⑤ 発振器や電子楽器などによる連続的な高い周波数成分の音。
⑥ マイク使用時に起こりやすいハウリングの音または発振音。
⑦ 引き回したスピーカーコードによるアンプの高域発振出力。

仕　様

種　類:	2ウェイ バスレフ型　防磁形（JEITA）
使用スピーカー	
中・低域用:	11.0 cm ウッドコーンスピーカー
高域用:	2.0 cm ウッドドームスピーカー
定格入力(JIS):	25 W
最大入力(JIS):	100 W
定格インピーダンス:	6 Ω
クロスオーバー周波数:	3.5 kHz
再生周波数帯域:	55 Hz ～ 50,000 Hz
出力音圧レベル:	82 dB/W・m
最大外形寸法:	幅 143 mm × 高さ 256 mm × 奥行 233 mm
質　量:	3.5 kg（1本）

JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
（注） 本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

■特性図

「ウッドコーン」について

木製振動板「ウッドコーン」

ヴァイオリンやギター、ピアノ等、美しい音色を奏でる楽器の多くは木を使用しています。中でも無垢の木材は音の自然な減衰特性が特長で心地よい響きを生みます。
振動板の特性を評価する指標には「伝搬速度 (音を伝える速さ)」と「内部損失 (音を吸収する度合い)」があり、音の解像度やメリハリを高めるには、この相反する特性の値がともに大きく、バランスのとれた素材が理想とされています。この理想に近い素材が楽器にも使われている木材なのです。
今から 20 年前、一人の技術者が木の振動板を試作しました。扇形状の薄い木製シートを数枚張り合わせてコーン (円錐) 形状に造り上げた振動板は、オーディオ開発に携わる技術者の魂を揺り動かすほどの魅力的な音色でした。残念な事に、天然素材ゆえの品質、生産上の課題が大きく、量産化は実現できませんでした。
しかし、音楽への深い愛情とともに満足ということを知らない技術者の執念が、奇跡にも近い発想の転換を経て 20 年後、ついに量産化を実現させたのです。
このウッドコーンの能力を十二分に発揮させる為、チェリーの無垢板をスピーカーキャビネットに採用したほか、マグネットやボイスコイル、フレームはもちろん、ネットワーク部の音響パーツ一つ一つを厳選し、高品位な音質再生を目指しました。
かつて技術者の夢であったテクノロジーと長年にわたり培ってきたクラフトマンシップ。
音楽を愛する全ての方に感動が魂を揺さぶるエモーショナルなサウンドをお届けします。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120－2828－17**

携帯電話･PHS･FAXなどからのご利用は
電 話 (045)450－8950
FAX (045)450－2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

1206NYMMODHCE